

希望と期待を胸にして

平成28年度第51回入学式挙行



式辞を述べる中村幸弘学長

平成28年度第51回入学式は、4月7日学園創立四十周年記念館を式場にして多数のご来賓、ご父母、教職員の臨席のもと、厳肅に執り行われた。この日を迎えた新入学生192名（日本文化学科81名、人間教育学科111名）は、大きな希望と期待を胸にして、太平台での第一歩を踏み出した。



國學院大學
栃木短期大学
栃木市平井町608
〒328-8588
TEL0282-22-5511
FAX0282-22-5743
編集 学報編集部

第184号

くすのきの稚き芽ぶきに
冴えざえと風わたるとき
揺るる額髪
『常浪歌』 岡野弘彦

つづいて木村好成理事長の告示、さらに在学生を代表して秋山理沙学生会長（人間教育学科2年）が歓迎の辞を述べ、それに応えて新入生代表の武政葉月さん（日本文化学

式は午前10時より高森良友学生課長の司会のもとに進められた。白山実事務長の開式の辞に始まり国歌斉唱、そして、中村幸弘学長より新入生全員の本学への入学を正式に許可する旨が申し渡された後、式辞が述べられた。

入学式に先がけて、石坂昌閑事務次長による事前ガイダンスが行われた。新入生と父母に向けて、二年間の短大生活を通じての心構えと諸注意が伝えられた。

科1年・佐野東高等学校）が「この日の感激を胸に秘め、勉学に勤しみ、本学の学生として恥じないように努めたい」と新入生宣誓の言葉を力強く述べた。

その後、木村理事長より学園役・教職員の紹介、白山事務長より1年生のクラス担任および新任教員の紹介があり、全員による校歌斉唱の後、閉式の辞をもって式を終了した。

入学式終了後、日本文化学科と人間教育学科に分かれて新入生と父母・教職員を交えての学科懇談会が行われた。

そこでは各学科長からの挨拶、クラス担任と教科担当教員の紹介がなされた。その後、フイールドごとに会場を移し、懇談会が行われた。フイールドとして望む学生像、学生生活を有意義に過ごすための心得等がガイダンスされ、大学生としての新しいスタートが切られた。

結実した学修の成果

奨学生10名・表彰者7名

故佐々木周二学園長記念奨学金を原資とする奨学金なら

びに報奨金を給付する授与・表彰式が5月11日西三号館大会議室において行われた。授与・表彰された18名は、平成28年度入学試験奨学生（4名）、成績優秀者育英制度奨学生（7名）、学生表彰制度表彰者（7名）であった。彼らには、本旨をよく理解して今後の学生生活をさらに有意義に過ごしてほしい。

【入学試験奨学生】（1年生）

日本文化学科

山田 真愛 今井渚菜美

武政 葉月

人間教育学科

高山 歩唯

【成績優秀者奨学生】（2年生）

日本文化学科

伊藤菜々子 大森万理乃

石川 結希 石川 終斗

人間教育学科

中山 佳織 穂積奈瑠美

小林 舞彩

【学生表彰制度表彰者】（2年生）

日本文化学科

金井 萌 小林 由佳

野口 航 川添 智文

人間教育学科

水越 遥香 古水 沙紀

秋山 理沙

学長講演
(平成28年4月13日)

「選挙」転義考

学長 中村 幸弘

「選挙」という熟語、あの菅原道真も用いていた。『菅家文草』の「博士難」という五言詩に「教授、我失ふことなし／選挙、我平らかなることあり（＝官吏を選定して推挙するための試験でも、私は公平に採点した）」と詠んでいる。（多くの人のなかから選り出して推薦する）意である。

もちろん、その「選挙」は、古代中国から輸入した漢語であり、概念である。例えば司馬遷『史記』には、その用例が幾つか見られる。そこで、明治初年、西欧から“election”が導入されるまでは、代表者も役員も、特定の学識経験者から選り出されて、権力者に推挙されて決定を見たのであった。そして、「薦挙」とも表記されていた。

（一定の組織や集団の代表者や役員を選り出す）「選挙」は、古代ギリシア・ローマの都市国家やゲルマン部族

社会でも行われていたが、近代デモクラシーの発達とともに、国民の代表機関である議會を構成するため不可欠の手段となった。

『泰西国法論』（1826・津田貞道訳）の「選挙」は、当然、新しい語義の初出用例である。中村正直『西国立憲編』（1870～71）の「選挙」も、当然、（みんなで投票する）「選挙」である。しかし「新聞雑誌」八号・明治四年（1871）の「管下に数藩県を併合して人材を選挙し」は、旧来の人材登用を指しているものであった。

『和英語林集成』は、増補（1886）となって、「senkyo（センキョ）する」が立項されるようやくにして定着した、現代語の「選挙」であった。（当日の演題は、「十八歳選挙権を確かめる」でした。夏の参院選を前にしての権利と義務について語るなかでの一挿話です。）

栃木市と包括協定締結



協定書を交わした 鈴木俊美市長、木村好成理事長、中村幸弘学長(写真右より)

本学は、開学以来、積極的に栃木市および市民に溶け込み、地域文化、教育の発展に寄与してきた。特に、近年は合併後の新生栃木市に、本学教員が学識経験者として参画し地域発展に協力している。学生は、初等教育機関の現場に、福祉行事支援や各種団体行事に参加、活動してきた。今日、高等教育機関と地域行政・市民団体との組織的連携が求められ、自治体が地方創生への取り組みを進める中、

日本文化研究創刊

3月18日、「國學院大學栃木短期大学 日本文化研究」が刊行されました。

本誌は、それまで刊行されていた「野州國文學」「栃木史学」「國學院商学」の三誌を統合し、平成24年度からスタートした日本文化学科の機関誌として新たに創刊されました。

中村幸弘学長の「丸山真男の「である」」を巻頭に、「円仁と『法華経』」「芭蕉



創刊された日本文化研究と紀要第50号

俳諧と楊貴妃」「廃屋墓における葬送儀礼の諸行為」など、

「栃木市と國學院大學栃木短期大学との包括連携に関する協定」を締結することとした。協定調印は、平成28年3月30日、栃木市庁舎市長室において行われた。協定書は、鈴木俊美栃木市長、木村好成理事長・中村幸弘学長が署名し、互いに交換した。今後は、協定の主旨を活かし、地域の課題解決および活性化、人材育成等を図り、地域の振興と発展に寄与するとともに、本学の教育の質の向上および経営の安定を図ることに、互いに協力することとなる。

日本文化学科の6人の専任教職員から寄稿されての創刊号となった本誌は、「文化」という多岐にわたるさまざまな事象をそれぞれの専門の立場から論じた内容となりました。日本文化学科の教育・研究活動の成果などを収録して刊行し、本学科の活動を全国に向けて発信することを刊行の目的とした本誌が、号を重ねることになります充実したものになっていければ幸いです。

教授 大山 尚

新任教員からのメッセージ

本物の教育者を目指して

社会科教育 准教授 都留 覚



現在、教育現場は、世間からの厳しい批判にさらされ、即戦力を求めています。そんな時だからこそ、専門職としての教育者が持つべき理念・技能・知識を身につけた本物の教育者が育たなければなりません。

「衰えることのない情熱」と「揺るぎない自覚」、そして、「飽くなき探求力」を身につけた本物の教育者を育てるための努力を、学生さんたちと共に重ねていきたいと思っています。

今までの経験を糧に

栄養学 准教授 日比香子



昨年度まで非常勤講師をしておりましたが、今年度から専任として本学に勤務することになりました。私の専門は、食の安全を目指すという見地から、食中毒などの有害細菌の検出方法を研究するというものですが、本来の所属学科が食品に深く関わる学科でしたので、食物の栄養やおいしさはもとより、食をとりまく問題なども学んできました。

今までの経験を活かし、より多くの学生たちに総合的に現代の「食」に関しての知識が身につくような授業をしたいと思っています。よろしく願っています。

これからの秘書学

秘書学 准教授 藤掛 登



今年度から、秘書学（ビジネス実務、文書実務など）を担当する藤掛です。

秘書学は従来の秘書の職務を中心とした学習でしたが、今日のビジネス社会の実情を踏まえた学習内容を取り入れます。秘書学をビジネス実務として発展的に改変する中で、卒業後の社会人としても役立つ内容にしていきたいと思います。

情報活用能力を高め、ビジネス実務の諸分野で情報を整理するツールとして、パソコン等を適切に活用し、知識基盤社会を逞しく生きていく力を身に付けましょう。

生かされてあるといふ思ひの中で

イングリッシュ 講師 田村浩一



本校の高校に着任せし五年前大震災に偶会したり。この春は熊本に大災害あり。神戸の震災と地下鉄サリンの年に別の学校に赴任せしは二十年の昔なりき。私がいひときは天変地異を生きたるの幸運のみにあらず。自らの力に余る異変に翻弄されるが人間の基本的常態たることの覚醒こそ大事なれ。理想の高揚を否定せんとにかく言ふにあらず。人智を越えたる命運を想定せざる理想の無力を痛感する故の呻きの如きものか。新任の今回もまた、以上の覚悟を忘れず、所与の職務に力を傾注するが肝要とだけ心に期さん。

新しい一歩は、いつも楽しく、特別なもの

保育学 講師 星 雄一郎



今年度から人間教育学科で保育学を教えることになりました。専任の教員として初めての春を迎えて、新しい一歩に胸が躍ります。私は子どもの社会性や道徳性を育む心理教育プログラムについて研究をしてきました。これまでは大学院で研究しながら、研究と実践の懸け橋になりたいと思い、さまざまな教育現場で活動してきました。それは、次の世代の子どもたちへ何か役に立つことをしたい、という私の研究に対する初期衝動に突き動かされた結果でした。皆さんも二年間でたくさんのかたちを経験し、学ぶことでしよう。そのときに、入学をしたこの春に胸に抱いた思いを信じて、貫いてください。

出会いに感謝 ―チャレンジャーとして

養護学 講師 村井佐代子



今年度本学へ赴任し、養護概説・学校保健・子どもの保健等を担当しています。私はこれまで、義務教育学校の養護教諭として、中学校では思春期の心身における課題と向き合いながら、小学校では発達達の著しい学童期の子どもたちと触れ合いながら、永年教育活動に携わって参りました。

大学は初任ですが、将来の夢や希望を抱いて日々励む学生に対し、自らの授業実践や経験を生かし、教育現場の活力や歓喜、教師の魅力などを、講義を通して伝えつつ、共に学んで参りたいと思います。



日光東照宮に奉職している卒業生から説明を聞く学生

**日光の魅力を満喫した
1年生日光親睦旅行**

4月22日、恒例の1年生日光親睦旅行が行われ、日光東照宮・日光二荒山神社御本社・日光二荒山神社中宮祠・参集殿を参拝し、本学への入学奉告と学業成就・健康安全を祈願した。

職員の方々よりそれぞれの建造物の由来や意義について詳しく説明していただいたことでより理解を深められた。

日光東照宮では、陽明門の修復工事が行われており、工事中の今しか見ることでできない貴重な彫刻を拝見することができた。この日は各国からの観光客も多く、さまざまな言語が飛び交い、栃木県の誇る「日光」が世界の「日光」であることを改めて感じる一日となった。

団体競技で勝負！ 全員で闘った体育祭



5月28日、学生会主催の体育祭が四十周年記念館で開催された。

スポーツの得手不得手を気にすることなく学生全員が参加でき、さらにクラスの団結力も高められるようにと実行委員が種目を検討した結果、今年はドッジボール、ムカデ競争、綱引きの三種目で行われることになった。

最初に、ドッジボール3回戦までが行われた。7人制のクラス対抗で試合時間は4分間。

つづいてのムカデ競争は、4人1組、第1～4走者のリレー形式。学科・クラスの縦

割りでチームを編成して競技に臨んだ。

昼食をはさんで、午後の競技は綱引き。1チーム30人、時間30秒、トーナメント方式で行われた。この競技には、教職員チームも参加した。

最後に、ドッジボールの準決勝と決勝が行われ、優勝チームが決定した。

出場選手と応援の学生、教職員とが一体となり熱戦が繰り広げられた。会場内はなかなかの盛り上がりを見せ、スポーツを通して学生同士の親睦を深めることができた。

表彰についても検討がされ、今年は総合優勝の1クラスに優勝杯と賞状、各学科1位・2位の4クラスと特別応援賞のクラスには賞状が手渡された。結果は次の通り。

総合 優勝

人間教育学科2年3組
日本文化学科

1位 2年2組
2位 1年2組
人間教育学科

1位 2年3組
2位 1年2組
特別応援賞

人間教育学科2年2組

みんなの心が怪力に変化?!
(綱引き)足並みそろえてまっすぐ！
(ムカデ競争)攻めるが勝ち？逃げるが勝ち？
(ドッジボール)

歴史のなかの人間		時間：2時～3時30分 場所：学園教育センター
6月4日	京都清凉寺と入宋僧裔然	教授 博士(歴史学) 酒寄 雅志
6月11日	寛永大造替前後の日光	兼任講師 岸野 稔
6月18日	北関東における縄文・弥生変革 ー栃木市中根八幡遺跡の調査ー	講師 博士(歴史学) 中村 耕作
6月25日	ヴェニス商人が活躍したヨーロッパ世界 ー「中世の世界経済」の展開ー	教授 博士(経済学) 寺崎 宣昭
7月2日	徳川幕府の崩壊と高家島山氏	教授 博士(歴史学) 田中 正弘

古文書をよむ ー山村の古文書を読むー
准教授・博士(歴史学) 坂本 達彦
5月18日・6月1日・6月15日 6月29日・7月13日
時間：3時～4時30分 場所：学園教育センター

春季公開講座

日本文化学科 オリエンテーション宿泊研修会

日本文化学科は4月11日・12日、オリエンテーションの期間を利用し、宿泊研修会を実施した。新入生同士の親睦をはかり、よき仲間づくりをし、今後の学生生活を有意義なものとすることを目的としている。

日本文学・言語文化・日本史フィールドの新生が734教室に集合し、56人のグループに分かれ、リーダー以下の担当者を決めた。「短大生活の二年間をどのように過ごすか」というテーマに沿った目標や課題を整理して、グループごとの意見として集約し、それを大きな模造紙に書き込んでいった。その後、夕食をはさんで各グループで発表した。

教員・図書館司書などの資格の取得をめざすもの、四年制大学への編入学を希望するもの、またサークル活動やアルバイトに言及するものなど、各人の様々な希望や目標を、互いに確認しあうことで、深い共通理解と自己認識が得ら



グループ作業で話し合う学生

れたように見受けられた。終了後、練成館に宿泊し、懇親を深めた。翌朝、朝食をとった後、解散となった。

学生からは、当初、初対面ばかりなので不安があったが、グループ作業など話し合って進めてゆくことで自然に打ち解けあい、また一緒に宿泊することで、くつろいだ談話ができ、一気に友人の輪が広がったといった声を聞くことができた。なによりである。なお本年度は、とくに夕食・朝食に気を配り、若者の嗜好にあうものを準備した。幾度となく食堂側と、綿密な打ち合わせをされたと聞いている。

准教授 菱沼一憲

「おくのほそ道」の名所旧跡を見学 日本文学フィールド2年生課外研修

去る4月1日、日本文学フィールドは、2年生対象の課外研修を行った。今回は福島県の白河市や栃木県北部の文学、おもに『おくのほそ道』にまつわる名所旧跡を見学した。コースは、白河の関・殺生石・遊行柳・黒羽芭蕉の館であった。ただし、見学の順序はクラスによって異なったので、私が同行した1組のコースに基づき紹介する。

まず、白河の関に直行した。時期的に寒いのではとの危惧もあったが、良天に恵まれそれも杞憂に終わった。おくのほそ道の碑（加藤楸邨筆）や能因らの歌碑などを見学した。



白河の関にて

あたり一面カタクリの花が咲き誇っていた。

昼食後、殺生石に向かった。ここは九尾の狐の伝説が残る岩石が広がり、時折硫黄の匂いが鼻をついた。能「殺生石」の舞台にもなり、また芭蕉も、

石の毒気いまだほろびず、蜂蝶のたぐひ、真砂の色の見えぬほどかさなり死すとその不気味さを著した。

その後、遊行柳を訪ねた。田んぼの中に柳が一本あるだけだが、これも、能の演目になっており、西行や遊行上人と柳の精の伝承で有名である。西行の歌碑、芭蕉の「田一枚

植て立去る柳かな」や蕪村の句碑に触れた。

最後に黒羽の芭蕉の館を見学した。この館は『おくのほそ道』三百年記念の平成元年に開館し、芭蕉関係の資料の他、黒羽藩大関家の資料を展示している。ここでは、学芸員の新井敦史氏に解説をしていただいた。同氏は昨年『下野おくのほそ道』（下野新聞社）を上梓されたばかりである。

予定よりやや遅れたが、五時半過ぎに無事栃木駅に到着。ややハードなスケジュールであったが十分学習成果が期待できたと思う。

教授 塚越義幸

【基礎学力アップ講座】

1・2年生を対象にした教務委員会主催の「基礎学力アップ講座」が、5月中旬から8回にわたり開催されている。講座のなかでは担当教員より模擬試験とその解説が行われ、参加学生（文章理解53名、数的理解71名）が熱心に受講している。

開催月日	対象分野	担当教員
5/18	文章理解①	田中憲二教授
5/25	数的理解①	日比香子准教授
6/1	文章理解②	田中憲二教授
6/8	数的理解②	日比香子准教授
6/15	文章理解③	田中憲二教授
6/22	数的理解③	山内見和教授
6/29	文章理解④	田中憲二教授
7/6	数的理解④	山内見和教授

4時10分～5時40分 733教室

第49期生の進路

今春卒業した第49期生の主な就職・進学先は次のとおりである。就職先は名称を、進学先は学校名を表記した。

■建設業 ㈱ワールドコーポレーション
 ■製造業 ㈱折原米菓工場／トモエ乳業㈱／㈱日光食品／㈱ALBIO／NOK ㈱ ■電気・ガス・熱供給・水道業 ㈱シマジュー ■情報通信業 ㈱エム・ビー・エス／㈱ビット・エイ ■卸売業・小売業 ㈱たちばな／エムシー関東㈱／カロン薬局／南喜田屋／㈱銀座マギー／クラタ㈱ ■金融業 長野県信用組合 ■宿泊業・飲食サービス業 ㈱サンルート／㈱積善館／㈱東横イン／㈱アムズ／オオハシフードリンク㈱／㈱フライングガーデン／㈱サイプレス ■生活関連サービス業・娯楽業 あすかセレモ㈱／五月女総合プロダクト㈱／㈱信州さがみ典礼／みかもリフレッシュセンター／水戸レイクスカントリークラブ ■学校教育（幼稚園教諭等） 古河幼稚園／あつみ幼稚園／今市幼稚園／梅ヶ原幼稚園／乙女幼稚園／おもちゃのまち幼稚園／栗の実幼稚園／国谷幼稚園／栃木幼稚園／平出幼稚園／陽南幼稚園／川越ひばり幼稚園／宮代幼稚園／金鶏有明学園／認定こども園／しらぎくこどもの城幼稚園／

認定こども園愛泉幼稚園／認定こども園足利幼稚園／認定こども園アルス幼稚園／認定こども園岩舟幼稚園／認定こども園おおみや幼児教育センター（おおみや幼稚園・ひがしのもり保育園）／認定こども園小山幼稚園／さかえ認定こども園／山王認定こども園／認定こども園しずわでら幼稚園／認定こども園都賀幼稚園／虹ヶ丘認定こども園／認定こどものみやこども園東うつのみや保育園／認定こども園Hinoaki Preschool／認定こども園ひらかわ幼稚園／認定間々田こども園／認定こども園むつみ愛泉こども園 ■学校教育（小学校教諭） 瑞町公立学校／古河市公立小学校／宇都宮市公立小学校／志木市公立小学校 ■学校教育（養護教諭） 大仙市公立中学校／青藍泰斗高等学校／栃木県公立特別支援学校／栃木県公立高等学校／大田原市公立中学校／小山市公立小学校／栃木市公立小学校／那須塩原市公立中学校／真岡市公立小学校 ■学習支援業 ㈱図書館流通センター／㈱コスモ企画／鏡石町公立小学校放課後児童クラブ／市進学院 ■医療業・福祉業 赤羽中央総合病院／いばらき眼科クリニック／豊郷台クリニック／北毛病院／安積愛育園／介護老人保健施設すばる／希望の郷 ■福祉業（保育士） 社会福祉法人牧人会／石下保育園／結城ふたば保

育園／いちご保育園／ステラ獨協前保育園／たんぼぼ保育園／とちぎメリーランド保育園／ふにゅう保育園／瑞穂野保育園／壬生寺保育園／明神保育園／わかば保育園／乳児院夢／すみれ乳児院／㈱アイオル／㈱MII／㈱オリエンタルシステムズ／㈱School Bridge／㈱ベネッセスタイルケア ■サービス業 ㈱アスワン／㈱シリウス／㈱保坂建築事務所／㈱ライフバケーション ■公務員 群馬県職員（警察官）／埼玉県職員（学校事務）／栃木市職員（保育士） ■編入学先名称 國學院大學（文学部日本文学科・文学部史学科・経済学部経済学科・経済学部経営学科・神道文化学部神道文化学科・人間開発学部初等教育学科）／大阪教育大学（小学校教員養成5年課程）／鎌倉女子大学（家政学部家政保健学科・教育学部教育学科）／玉川大学（通信教育学部）／東京福祉大学（教育学部教育学科）／東京音楽大学（音楽学部音楽学科）／東洋学園大学（現代経営学部現代経営学科）／目白大学（人間学部児童教育学科） ■進学先名称 國學院大學栃木短期大学（科目等履修生）／女子栄養大学短期大学部／国際情報ビジネス専門学校／駿台外語&ビジネス専門学校／東京医薬専門学校／東京電子専門学校／ヒューマンアカデミー

学生会だより

出会いを大切に

学生会長 秋山 理沙

今年度で開学50周年を迎えるこの節目の年に、本学の学生であることを誇りに思うと同時に、出会いの大切さを改めて実感しています。4月には新入生を迎え、本学も新たなスタートを切りました。学生も新たなメンバーが加わり、活動を始めています。今年は栃木市と本学の間に包括協定が結ばれ、学内だけでなく、地域にも貢献できる活動を行っていく所存です。5月28日に行われた体育祭では、メンバー全員で準備、運営に取り組み、（新しい種目やルールが加わった中でも）円滑に進めることができました。



体育祭で挨拶をする
秋山理沙学生会長

平成28年度

学生会本部役員

新体制になった学生会は、まだまだ至らない点も多くあるかと思いますが、学生生活が円滑で充実したものとなるよう、学生会一同、精一杯努めてまいります。

秋には斯花祭が控えており、少しずつですが準備を進めています。試行錯誤を重ねていき、今まで以上に良い斯花祭を皆さんと作り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

会長 人間教育学科2年 秋山 理沙
 副会長 日本文化学科2年 村井 晶
 体育祭実行委員長 日本文化学科2年 小野塚真緒
 体育祭副実行委員長 日本文化学科2年 金子恵里香
 オープンキャンパス責任者 人間教育学科2年 柏田 苑佳
 オープンキャンパス副責任者 日本文化学科2年 花田 千春
 斯花祭実行委員長 日本文化学科2年 吉田 樹
 斯花祭副実行委員長 日本文化学科2年 仲田 美咲
 書記 日本文化学科2年 齋藤 愛理
 会計 日本文化学科2年 小池明日加
 会計 日本文化学科2年 村井 晶

事 報

■ 人 事 ■

◆新任

4月1日付

任准教授	(教科教育法社会)	都留 覚
同	(食品学)	日比 香子
同	(文書実務)	藤掛 登
任講師	(イングリッシュ)	田村 浩一
同	(保育実習指導)	星 雄一郎
同	(養護概説)	村井佐代子
委嘱非常勤講師	(健康相談活動)	池田 清恵
同	(教師論)	板橋 雅則
同	(教育制度論)	内山絵美子
同	(教科教育法算数)	大野 桂
同	(社会教育計画)	小鮎 一明
同	(教師論)	須藤 稔
同	(解剖生理学)	高橋 徹
同	(日本史特殊講義)	佐藤 長門

◆定年退職

3月31日付

教授	(文書実務)	河田美恵子
同	(教科教育法社会)	田中 力
同	(食品学)	田中 宗彦
准教授	(イングリッシュ)	江部 信夫

(28年度非常勤講師を委嘱)

◆依願退職

3月31日付

非常勤講師	(解剖生理学)	青木 虎男
同	(社会教育計画)	奥畑 賢一
同	(人間教育研究)	坂口 耕史
同	(教科教育法算数)	中田 寿幸
同	(日本史特殊講義)	吉岡 孝

4月30日付

学生課書記	穂本 仁美
-------	-------

◆配置異動

5月1日付

教務課書記	(高校教務部へ)	池田 志保
助手	(学生課へ)	高橋 悦子

■ 行事・集会 ■

- 4月1日 日本文学F2年生課外研修
 7日 第51回入学式・2年生成績表交付
 8日～12日 オリエンテーション・健康診断

13日 授業開始

13日 総合ガイダンス

20日 履修届提出締切

22日 1年生日光親睦旅行

27日 教育実習ガイダンス

30日 公務員就職模試・教員採用試験模試・保育士就職模試

5月2日 子ども教育F1年生市内幼稚園・小学校観察

5日～7日 子ども教育F1年生とちぎ海浜自然の家宿泊研修

11日 奨学金交付式

25日 職業意識啓発セミナー

28日 体育祭

6月6日～24日 幼稚園・小学校・養護教諭教育実習

6日～7月1日 中学校(教科)教育実習

本学および関係者出版紹介

○國學院大學栃木短期大学紀要第50号

○國學院大學栃木短期大学日本文化研究創刊号

○國學院大學栃木短期大学日本文化学科日本文学フィールド文芸春花第14号

○國學院大學栃木短期大学日本文化学科日本文学フィールドあぢさゐ坂第15号

○木野主計元非常勤講師著

『近代日本の歴史認識再考』岩田書院

平成28年度クラス担任

1年生

2年生

日本文化1組	大山 尚	1組	田中 憲二
2組	塚越 義幸	2組	津島 昭宏
3組	森岡 宏行	3組	中塩 聖司
4組	田沼 眞弓	4組	寺崎 宣昭
5組	菱沼 一憲	5組	中村 耕作
人間教育1組	小川 澄江	1組	早川 富美子
2組	月本 由紀子	2組	名取 初穂
3組	星 雄一郎	3組	佐藤 秋子
4組	岩崎 香織	4組	山内 見和
		5組	高野 マチ子

もつところ

五月二六日に、先進七カ国の代表による伊勢志摩サミットが行われた。翌二七日にアメリカのオバマ大統領が広島市の平和記念公園を訪れ、原爆死没者慰霊碑に献花した。広島・長崎に原爆を投下したアメリカの現職大統領として初めてとなる歴史的な被爆地訪問を実現したオバマ大統領は、慰霊碑の前での演説で「悲惨な戦争で罪のない人びとが殺された。私たちは歴史を直視する責任を共有している」と述べ、大戦の全犠牲者を追悼する考えを強調した。訪問には安倍晋三首相が同行した。

原爆投下の評価には、太平洋戦争で戦ったアメリカの退役軍人の考えと、広島・長崎の市民との考えには大きな隔たりがある。何れかにハタを揚げることはできない。その後、相手の立場を理解することや、何が起きたかを伝えていくことが大切なのである。あらゆる物事についての真実は、常に中間にある。すべての事はその人の視点で語られていて、必ず偏りあるからである。(好)

夏のオープンキャンパス 来て、見て、なっとく



期日 7/3(日) 7/23(土) 7/24(日) 8/6(土)
時間は毎回 10:00～13:30 (受付 9:30～)

内容 入試概要説明・キャンパスツアー・個別相談・学食体験などのほか授業体験もあります。

予約の必要はありません。どなたでも参加できます。

平成29年度学生募集概要

入試日程および選抜方法

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日	選 抜 方 法
対話型A〇入試	9月26日(月) ～10月10日(月)	—	10月13日(木)	1. オープンキャンパスに参加 2. 7月15日(金)～9月16日(金) エントリーシート、課題を提出 3. 希望日に面談を受ける 4. 志願票提出による最終選考(面談で選抜された者に限る)
一般推薦入試 指定校推薦入試 卒業生子女入試	10月17日(月) ～11月3日(木)	11月7日(月)	11月9日(水)	①一般推薦入試/調査書、小論文(800字・60分)、面接 ②指定校推薦入試/調査書、面接 ③卒業生子女入試/調査書、志望理由書、面接
自己推薦入試(Ⅰ期) 社会人入試(Ⅰ期)	11月21日(月) ～12月6日(火)	12月8日(木)	12月10日(土)	①自己推薦入試/調査書、自己推薦文(800字・60分)、面接 ②社会人入試/調査書、自己推薦文(800字・60分)、面接
A日程入試 センター型入試(A日程) 奨学生入試 自己推薦入試(Ⅱ期) 社会人入試(Ⅱ期)	平成29年 1月16日(月) ～2月8日(水)	2月10日(金) センター型を除く	2月15日(水)	①A日程入試/学科試験(1科目) ②センター型入試/センター試験における成績(2科目得点) ③奨学生入試/学科試験(1科目)、面接 ④自己推薦入試/調査書、自己推薦文(800字・60分)、面接 ⑤社会人入試/調査書、自己推薦文(800字・60分)、面接
B日程入試 センター型入試(B日程) 國學院大學受験者対象入試(B日程) 自己推薦入試(Ⅲ期) 社会人入試(Ⅲ期)	平成29年 2月16日(木) ～3月7日(火)	3月9日(木) センター型を除く	3月11日(土)	①B日程入試/学科試験(1科目) ②センター型入試/センター試験における成績(2科目得点) ③國大受験対象入試/(Ⅰ)國學院大學における受験結果(得点) (Ⅱ)センター試験における成績(得点) (Ⅲ)学科試験(1科目)、 面接 (Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)を志願者本人が選択 ④自己推薦入試/調査書、自己推薦文(800字・60分)、面接 ⑤社会人入試/調査書、自己推薦文(800字・60分)、面接
C日程入試 センター型入試(C日程) 國學院大學受験者対象入試(C日程) 自己推薦入試(Ⅳ期)	平成29年 3月8日(水) ～3月21日(火)	3月23日(木) センター型を除く	3月24日(金)	①C日程入試/小論文(600字程度・60分)、面接 ②センター型入試/センター試験における成績(2科目得点) ③國大受験対象入試/(Ⅰ)國學院大學における受験結果(得点) (Ⅱ)センター試験における成績(得点) (Ⅳ)小論文、面接 (Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅳ)を志願者本人が選択 ④自己推薦入試/調査書、自己推薦文(800字・60分)、面接

募集学科および募集人員

募集学科		日本文化学科	人間教育学科
フィールド		日本文学・言語文化・日本史	子ども教育・生活健康
募集人員		120名	130名
募集人員内訳	対話型A〇入試	10名	10名
	一般推薦入試		
	指定校推薦入試	45名	70名
	卒業生子女入試	若干名	若干名
	自己推薦入試		
	社会人入試	8名	10名
	A日程入試		
	センター型入試(A日程)	30名	20名
	奨学生入試		
募集人員内訳	B日程入試		
	センター型入試(B日程)	15名	10名
	國學院大學受験者対象入試(B日程)		
募集人員内訳	C日程入試		
	センター型入試(C日程)	12名	10名
	國學院大學受験者対象入試(C日程)		

※人間教育学科 子ども教育フィールド幼稚園・保育専攻の入学定員は80名です。

※卒業生子女入試については、ご連絡をお待ちしております。どうぞご活用ください。

詳細は、学生募集要項を請求のうえ、確認してください。

◎電話による請求 → 國學院大學栃木短期大学入試係 TEL 0282-22-5511 <代表>

◎本学ホームページからの請求 → <http://www.kokugakuintochigi.ac.jp/tandai/>